

看護学生の生活と看護実践経験についての意識調査

調査ご協力のお願い

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、私どもは『独立行政法人日本学術振興会』による 2024～2026 年度文部科学省科学研究費基盤(C)「オプションプログラムの開発による新卒訪問看護師のための卒前教育体制の構築」(研究代表者：秋山明子)による研究助成 (<https://nursing-nagoya-cu.jp/>) により、以下の調査を行わせて頂く事になりました。調査の趣旨をご理解の上ご協力の程お願い申し上げます。

訪問看護利用者数の増大に伴い、訪問看護師の安定的確保、新卒訪問看護師の積極的な採用と卒前・卒後教育体制の構築が急務となっています。この状況に鑑み、私どもは、看護基礎教育における課外活動として、新卒訪問看護師育成の卒前オプションプログラムの導入を検討することにしました。新卒訪問看護師育成の卒前オプションプログラム(課外活動で行う看護実践経験)のあり方を検討するには、第一段階として、新卒訪問看護師を目指す看護学生に限らず、看護学生が共通して直面する困難や課題を把握する必要があります。そこで本研究では、看護学生の皆様が学生生活の中で抱えている困難や課題を明らかにすることを目的として、**看護学生の生活と看護実践経験についての意識調査**を実施することといたしました。

本調査は皆様に何ら強制する性格のものではございません。ご回答は皆様の自由意思におまかせいたします。アンケートは無記名で行います。お答え頂いた内容は、この調査の目的以外に使用されることはなく、すべて統計的に処理し、学会発表や論文公表は予定致しておりますが、皆様に個人的にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和7年8月吉日

アンケートへのご協力お願いいたします。こちらのQRコードを読み取ってください。



〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-4-7

研究責任者 名古屋市立大学大学院看護学研究科 助教 山本翔太

Tel 052-982-7382

E-mail shota.y@med.nagoya-cu.ac.jp

研究分担者 名古屋市立大学大学院看護学研究科 教授 秋山明子

名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授 宮内義明

名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授 秋山直美

国際医療福祉大学看護学部 教授 谷山 牧

三重県立看護大学看護学部 准教授 中北裕子

佐賀大学医学部看護学科 准教授 福山由美

名古屋市立大学医学部附属病院 副看護部長 佐橋朋代

名古屋市立大学医学部附属病院 看護師 伊藤祐以

名古屋市立大学医学部附属病院 看護師 古川陽介